

資料—4

水源地域ビジョンの更新（案）

1. 水源地域ビジョン（実施内容）の見直しの考え方
2. 水源地域ビジョン（案）

平成29年01月25日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 事務局

1. 水源地域ビジョン（実施内容）の見直しの考え方

(1) 水源地域ビジョン推進の現状と課題

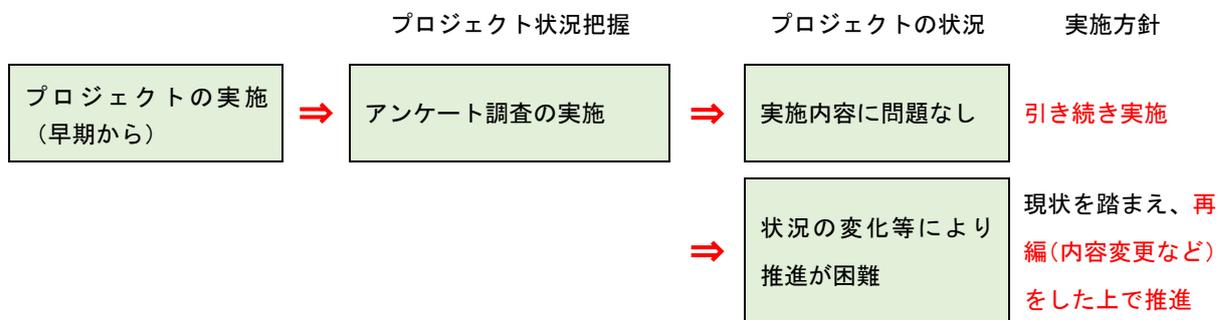
- ・尾原ダム水源地域ビジョンは、平成 25 年 9 月に策定、平成 28 年度より中期に移行した。
- ・今年度、活性化する会は 3 回開催されたが、策定時における状況とは少しずつ変わってきている部分があった。
- ・計画どおりに推進することが難しいプロジェクトがあることが分かった。

(2) 自律的・持続的な推進に向けて

- ・現状のままで推進するとビジョン全体に悪影響を与える恐れがあるため、活動されている方々の意見を踏まえ、現状に沿った形でビジョンの内容を見直し、同時にスリム化も図り、水源地域ビジョンの自律的・持続的に推進すべきと考える。

(3) 水源地域ビジョンの推進イメージ

① 早期から推進しているプロジェクト



(4) 水源地域ビジョンの更新(案)

1) 単独での対応が困難な取組

- ・尾原ダム水源地域ビジョン単独での対応が困難な取組については、実施できる取組への変更や現在実施している取組への変更などで対応する。

具体的例

プロジェクト	実施内容	対応困難な取組例	修正案
(1)-1 人材の発掘・活用	⑤学生と地域のニーズをマッチングさせるシステムづくりを検討し、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境の整備	ニーズをマッチングさせるシステムづくり	⑤地域のニーズを踏まえた上で、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境の整備
(9)-1 環境学習会の開催(森林、水質・水生生物、ホテル)	③さくらおろち湖周辺のホテルの観察ポイントの整備	観察ポイントの整備 記載場所の変更 (『(8)-1 生息環境の保全(動物・植物)』に移行)	(8)-1 ③さくらおろち湖周辺のホテルの観察ポイントの発信
	⑦水源地域の休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施	休耕田	⑤水源地域の耕作地等を活用した農業体験ツアーの実施
(11)-1 農地保全の仕組みづくり	①水源地域の農村景観を保全していくために、維持管理が困難な農地を協力して耕作していく仕組みの構築	維持管理が困難な農地	①水源地域の農村景観を保全していくために、協力して農地を耕作していく仕組みの構築
(11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー)	①水源地域内の耕作放棄地を減少させ、農村景観を改善していくために、ミックスフラワー等の栽培	耕作放棄地 ミックスフラワー等の栽培	①農村景観を改善していくための景観作物等の栽培
(12)-1 森林の利用促進(森林セラピー、森のようちえん)	①水源地域の森林環境を、心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の場として活用。森の香りや空気の清浄さ、美しい色彩や景観などが人の生理に及ぼす効果について、医学的に検証された「森林セラピー基地」となるような水源林の整備	「森林セラピー基地」となるような水源林の整備	①水源地域の森林環境を用いた心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の推進
	②自然環境の中での幼児教育や、幼児を対象とした自然体験活動などを実施する「森のようちえん」の推進	「森のようちえん」の推進	②自然環境の中での幼児教育や幼児を対象とした自然体験活動などの実施

2) 類似している取組

- ・尾原ダム水源地域ビジョンの中で類似している取組がある場合は統合して1つの取組として記載する。

具体的例

プロジェクト	実施内容	修正案
(3)-1 企業との連携 (CSR 活動)	①水源地域ビジョンで検討された活動を連携して推進していく企業の募集	①地域内の企業が実施する CSR 活動（企業の社会的責任）と連携した活動の推進（企画・募集）
	②企業と連携可能なプロジェクトの作成	
	③地域内の企業が実施する CSR 活動（企業の社会的責任）と連携し、周辺地域の清掃等の実施	
(5)-1 情報発信の促進 (ホームページ、カレンダー、案内標識)	①ホームページでの水源地域の自然環境や魅力、イベント情報などの発信	①ホームページや各種イベント・地域マスメディア、各種情報誌での水源地域に関する情報の積極的な発信
	②各種イベント・地域マスメディア、各種情報誌に水源地域に関する情報を積極的に発信	
(9)-1 環境学習会の開催 (森林、水質・水生生物、ホタル)	①さくらおろち湖や周辺の河川、森林への関心を促すための「環境学習会」の開催	①さくらおろち湖や周辺の河川、森林などをフィールドとした地域への関心を促すための「環境学習会」の開催
	②ダム湖周辺の河川などを、夏休みの研究や自然観察会のフィールドとして活用	
(20)-3 地域体感ツアーの開催	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域体感ツアーの企画・開催	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域を体感できるツアーの企画・開催
	②雪かきなどの雪体験ツアーの開催の検討	

3) 新たな取組の追加

- ・尾原ダム水源地域ビジョン策定後、建設された施設等を活用する取組を新たな取組として追加する。

具体的例

プロジェクト	修正事項	修正案
(16)-4 その他施設の有効活用	『(15)-1 湖面の利用促進』から移行	①雲南市尾原地域づくり支援センターを活用したボート合宿の誘致
	プロジェクトの追加 『(16)-4 その他施設の有効活用』	②ダムの見える牧場を活用したイベントの企画・実施
	プロジェクトの追加 『(16)-4 その他施設の有効活用』	③道の駅おろちの里の積極的な活用（珍しい産品開発等）

4) その他の取組等の更新

- ・その他、記載内容等の微修正を行う。

具体的例(1/3)

プロジェクト	実施内容	修正内容	修正案
(4)-2 流域圏の連携	②志津見ダム水源地域で活動されている団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などの検討	活動 されている 団体 ⇒活動 している 団体	②志津見ダム水源地域で活動 している 団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などの検討
	③広域的に連携した観光ルートを創造し、広くPR	表現方法の修正	③広域的に連携した観光ルートの 創造・PR
(5)-1 情報発信の促進 (ホームページ、カレンダー、案内標識)	③尾原ダム周辺の案内標識の整備、活用	・案内標識の整備はほぼ完了 ・設置した案内標識の有効活用を検討	② 設置した看板(お知らせ・案内)の有効活用によるイベント周知
(6)-2 ボランティア活動の実施	②降雨後にさくらおろち湖に流入する流木の回収の仕組みを検討	表現方法の修正 記載場所の変更 (『(6)-1 森林の整備・管理 』に移行)	(6)-1 ⑤降雨後にさくらおろち湖に流入する流木の回収の仕組みの 検討
	③学生によるボランティア活動を実施しやすくするために、例えば、島根大学のビビットカード制度※に基づく認定など	表現方法の修正	②学生によるボランティア活動の実施 環境の整備 (島根大学のビビットカード制度※に基づく認定など)
(8)-1 生息環境の保全 (動物・植物)	①ホテルの生息環境を保全するための、三沢川の清掃活動	表現方法の修正	①ホテルの生息環境を保全するための、三沢川の清掃活動の 推進
	③河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動	表現方法の修正	④河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動の 実施
(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることを周知	表現方法の修正	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていること の周知
	③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣や害鳥の対策	表現方法の修正	③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣や害鳥の対策 の実施

具体的例(2/3)

プロジェクト	実施内容	修正内容	修正案
(10)-2 ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	③根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などをあわせて実施	表現方法の修正	③根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などの 実施
	④平成 22 年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動	表現方法の修正	④平成 22 年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動の 推進
	⑥植樹の推進にあたり、様々な助成事業の活用・さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げた整備	表現方法の修正	⑥植樹の推進にあたり、様々な助成事業の活用・さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げた整備の 推進
(11)-1 農地保全の仕組みづくり	②仕組みの構築にあたり、流域内の大学生等が農地保全や草刈りのボランティアとして積極的に連携できるような呼びかけ	表現方法の修正	②仕組みの構築にあたり、流域内の大学生等が農地保全や草刈りのボランティアとして積極的に連携できるような呼びかけの 実施
(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）	④写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴を発掘・発信	表現方法の修正	④写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴の 発掘・発信
	⑤ダムの活用について様々な可能性を追求（ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）	表現方法の修正	⑤ダムの活用について様々な可能性の 追求 （ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）
(13)-2 日本一プロジェクト	②企画した「日本一」プロジェクトを積極的に実施（ランバイク常設コースを使った教室や大会開催ほか）	表現方法の修正	②企画した「日本一」プロジェクトの 積極的な実施 （ランバイク常設コースを使った教室や大会開催ほか）
(14)-1 サイクリングコースの活用	③サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法を検討	表現方法の修正	③サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法の 検討
	④既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングを継続・発展	表現方法の修正	④既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングの 継続・発展
	⑤MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通した上中下流交流や地域活性化	表現方法の修正	⑤MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通した上中下流交流や地域活性化の 推進

具体的例 (3/3)

プロジェクト	実施内容	修正内容	修正案
(15)-1 湖面の利用促進	④現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室をさくらおろち湖で実施	表現方法の修正	④現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室のさくらおろち湖での実施
(15)-3 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）	①水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」を適正に運用	表現方法の修正	①水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の適正な運用
(16)-2 農村体験施設等の利用促進	②広大な農地を活用した「かぼちゃの吊り下げ栽培」の推進	かぼちゃの吊下げ栽培を特産品の栽培に修正	②広大な農地を活用した特産品の栽培の推進
(18)-1 郷土料理の継承・活用	③宿泊と料理を結びつけたオーベルジュの活用	オーベルジュの活用を取組の推進に変更	③宿泊と料理を結びつけた取組の推進
(19)-1 古民家の活用	①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的に活用	表現方法の修正	①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的な活用
(23)-2 そば打ち交流会の開催	①水源地域の特産品を通した上中下流交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」を継続して開催	表現方法の修正	①水源地域の特産品を通した上中下流交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」の継続した開催

2. 水源地域ビジョン（案）

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容（見直し案）
水源地域を結び、拓く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用	①水源地域の活性化に向けた技術や知識、知恵を持った人材の発掘 ②発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築の検討 ③観光客への接客マナーの向上に努める観光の担い手の育成、活動団体間のつながりの強化 ④地元の大学や研究機関等との連携、水源地域における学修環境の充実 ⑤地域のニーズを踏まえた上で、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境の整備
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 組織の整備	①水源地域ビジョンで検討された活動を継続して推進していくための、リーダーを対象とした講習会の開催 ②リーダー研修会の開催 ③先進事例を推進している地域への視察 ④活動を継続していくための体制の充実
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）	①地域内の企業が実施する CSR 活動（企業の社会的責任）と連携した活動の推進（企画・募集）
	IV 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援	①水源地域の環境を保全していくために、下流域からの支援を得られるような仕組みの検討 ②下流域の団体、企業への CSR 活動の参加呼びかけ
			(4)-2 流域圏の連携	①尾原ダムの魅力を活かし、流域圏の連携・発展を図るために、流域内で実施されている活動や団体との連携 ②志津見ダム水源地域で活動している団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などの検討 ③広域的に連携した観光ルートの創造・PR
V 情報発信	(5) 情報発信（ホームページ、カレンダー、案内標識）	(5)-1 情報発信の促進 (5)-2 フィルム・コミッションの推進	①ホームページや各種イベント・地域マスメディア、各種情報誌での水源地域に関する情報の積極的な発信 ②設置した看板（お知らせ・案内）の有効活用によるイベント周知 ①水源地域の景観や地域資源、尾原ダムや周辺施設の魅力の積極的な発信（写真・映像の配信など）	
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理	①斐伊川流域の河川の水質保全のため、上流部の森林で広葉樹の植林 ②森林の計画的な間伐などの維持管理 ③雲南市の「うなん森林バイオマス活用システム」や奥出雲町の「バイオマスタウン構想」と連携し、竹林や林地残材のチップ化の推進 ④さくらおろち湖内の竹林等の適正な管理 ⑤降雨後にさくらおろち湖に流入する流木の回収の仕組みの検討
			(6)-2 ボランティア活動の実施	①下流域の住民や小学生の森林ボランティアによる森林の草刈りや間伐、里山の手入れなど、森林保全の仕組みの検討 ②学生によるボランティア活動の実施環境の整備（島根大学のビジットカード制度※に基づく認定など）
			(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物・植物）	①ホテルの生息環境を保全するための、三沢川の清掃活動の推進 ②生活環境保全のシンボルとして「ホテル祭り」の開催 ③さくらおろち湖周辺のホテルの観察ポイントの発信 ④河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動の実施 ⑤人と動物が共存するための安全対策の検討 ⑥オオサンショウウオを保全するために、生息環境の保全活動の推進
			(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知 ②外来種を捕獲するための仕組みづくりの検討 ③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣や害鳥の対策の実施
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホテル）	①さくらおろち湖や周辺の河川、森林などをフィールドとした地域への関心を促すための「環境学習会」の開催 ②ホテルの観察会や学習会を開催し、自然環境への意識啓発 ③水源地域の森林保全への意識を啓発するために、間伐や材木を活用したものづくりの体験プログラムの企画・実施 ④合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施 ⑤水源地域の耕作地等を活用した農業体験ツアーの実施 ⑥既存の「柿採りと干し柿づくり」ツアーの推進

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容（見直し案）
流域圏の恵みの源を守り、育む	VII 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）	① さくらおろち湖周辺の良好な景観を発信し、魅力を向上させるために、さくらおろち湖周辺のビューポイント・写真撮影スポットの発掘、活用 ② ビューポイントの案内板設置 ③ 季節に応じて見ごろを迎える紅葉やサクラ、新緑などを活かした写真撮影会の開催や、湖畔や橋に鯉のぼり（おろちのぼり）を掲げるなど、さくらおろち湖の魅力を発信
			(10)-2 ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	① さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除 ② クズやカズラ等の対策にあたっては、単純にクズやカズラ等を伐採するだけでなく、クズ等の有効活用策（根のレシピづくり、編みかごづくりなど）を検討し、地域住民と楽しみながら対策できるような仕組みの構築 ③ 根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などの実施 ④ 平成22年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動の推進 ⑤ ダム本体周辺にツツジなどの植栽を実施し、ダム本体の魅力の向上 ⑥ 植樹の推進にあたり、様々な助成事業の活用・さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げた整備の推進
		(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり	① 水源地域の農村景観を保全していくために、協力して農地を耕作していく仕組みの構築 ② 仕組みの構築にあたり、流域内の大学生等が農地保全や草刈りのボランティアとして積極的に連携できるような呼びかけの実施
			(11)-2 農村景観の向上	① 農村景観を改善していくための景観作物等の栽培
さくらおろち湖の魅力を磨き、活かす	VIII 自然環境の活用	(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進（森林セラピー、森のようちえん）	① 水源地域の森林環境を用いた心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の推進 ② 自然環境の中での幼児教育や幼児を対象とした自然体験活動などの実施
		(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）	① 尾原ダムの魅力を発掘し、積極的な発信 ② 尾原ダムの魅力を向上させるために、ライトアップやイルミネーション、クレスト放流、インフラツーリズム等の実施などの検討 ③ 各種イベントに合わせて実施しているダム施設の見学ツアーを積極的に開催 ④ 写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信 ⑤ ダムの活用について様々な可能性の追求（ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）
	(13)-2 日本一プロジェクト		① 尾原ダムの魅力を広く認知してもらうために、尾原ダム本体や堤頂道路などを活用した「日本一」プロジェクトの企画 ② 企画した「日本一」プロジェクトの積極的な実施（ランバイク常設コースを使った教室や大会開催ほか）	
	(14) サイクリング施設の活用		(14)-1 サイクリングコースの活用	① サイクリングコースの魅力を発信するために、「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」による国内初の認定コースとして選出されたことの発信 ② 平坦なコースが続く4.5kmのコースは一般の方にも楽しんでもらえるコースであることの発信 ③ サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法の検討 ④ 既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングの継続・発展 ⑤ MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通じた上中下流交流や地域活性化の推進 ⑥ サイクリングコースを活用し、子供向けサイクリング教室やウォーキング大会等の企画・実施
		(14)-2 レンタサイクルの実施	① 一般の方にサイクリングコースを楽しんでもらうために、「佐白温泉 長者の湯」等を拠点としたレンタサイクルの実施	
		(14)-3 サイクリングコースの改善	① サイクリングコースの魅力を向上させるために、サイクリングコースへ藤棚を設置するなど、利用者が夏場の日差しを避けることができるような対策の推進	
	IX ダム周辺の既存施設の活用	(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進	① さくらおろち湖の魅力を向上させるために、さくらおろち湖の利用の促進（水陸両用バスによる湖上観光、シーカヤックやカヌー、ヨット等を利用したイベントの開催、湖面いかだレースの開催、屋形船の導入など） ② サイクリングコースと連携して、トライアスロン大会の実施に向けた協議の実施 ③ さくらおろち湖に完成した認定コースを活用したレガッタ大会やボート競技大会の誘致 ④ 現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室のさくらおろち湖での実施 ⑤ 流域住民を対象とした体験教室などを開催し、ボートを通じた水源地域の認知度向上
			(15)-2 釣り利用（PR・大会・施設整備）	① さくらおろち湖の新たな利用者を増やすために、さくらおろち湖での釣り大会の実施可能性の検討 ② 関連団体等との調整を実施した上で、釣スポットの整備等、ダム湖と川に親しめる取組を実施し、さくらおろち湖の魅力の向上 ③ 道の駅「おろちの里」での鑑札の販売など、簡易に釣り利用ができる仕組みの検討
			(15)-3 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）	① 水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の適正な運用 ② 周辺の施設を利用する際の手続きの簡素化や、窓口の一元化の可能性の模索

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容（見直し案）
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	IX ダム周辺の既存施設の活用	(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された自転車競技施設（多目的広場）の利活用の検討 ① 水源地域の賑わい創出に向けた音楽イベント等の実施
			(16)-2 農村体験施設等の利用促進	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき農村体験施設を有効活用するために、併設の宿泊施設での体験学習会や、小中学生を対象とした合宿研修の利用などのPR ②広大な農地を活用した 特産品の栽培 の推進 ③「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された下布施ホースセラピー施設を活用した心の癒し企画の検討 ④農村体験施設や周辺の農地と連携した体験プログラムの企画などの検討 ⑤宍道湖の葦を活用した「葦壁づくりワークショップ」の開催
			(16)-3 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された岩伏山の登山道を有効活用するために、小中学生（スポーツ少年団）による登山などの企画 ②トレイルランニングのコースとして整備された殿様街道の保全活動やイベント企画などの実施 ③上中下流交流を実施するために、さくらおろち湖から、出雲神話の舞台であり、松江藩主が通った殿様街道を駆け巡るトレイルランニング大会の実施
			(16)-4 その他施設の有効活用	①雲南市尾原地域づくり支援センターを活用した ポート合宿の誘致 ② ダムの見える牧場を活用したイベントの企画・実施 ③ 道の駅おろちの里の積極的な活用（珍しい産品開発等）
		(16)-5 新たな活用策の検討	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された様々な施設の魅力を向上させるために、継続的な施設の活用策の検討	
		X 歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー）
	(18) 郷土料理の継承・活用			(18)-1 郷土料理の継承・活用 ①地域に伝承されている「食」（焼豆腐、笹巻き、イノシシ料理など）の掘り起こし ②発掘した郷土料理を地域住民に伝承するための講座の開催 ③宿泊と料理を結びつけた 取組 の推進 ④現在実施している郷土料理を楽しむモニターツアーを継続・拡大させ、郷土料理を通じた水源地域の魅力の発信 ⑤オーガニック料理教室の実施
	(19) 地域文化の継承・活用		(19)-1 古民家の活用 ①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的な活用	
	XI 新たな魅力・資源の発掘	(20) 地域の魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）	①水源地域周辺に立地する温泉施設間の連携を促進するために、温泉スタンプラリーの企画・実施 ②水源地域交流拠点として利用している「佐白温泉 長者の湯」で、水源地域農産物の産直販売や、食の提供、世代間交流の実施
			(20)-2 観光資源の再整理	①水源地域として、観光拠点として発信する施設の選定 ②斐伊川の歴史とヤマタノオロチの伝承等、自然とその背景を地域の資源を再整理した上で、地域全体として魅力の発信
			(20)-3 地域体感ツアーの開催	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域を体感できるツアーの企画・開催 ②ツアーエージェントを対象に、水源地域の魅力を活用したツアーの制作の依頼 ③地域体感ツアーの開催にあたっては、温泉や宿泊施設などとの連携の模索
		(21) 漁業資源の育成と活用	(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流） ①新しい地域資源として、さくらおろち湖へのワカサギ放流の継続 ② 放流したワカサギを、漁業資源としてだけでなく、冬季の観光資源としての活用の模索	
		(22) 特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進 ①水源地域の豊富な湧水や豊かな森林から生産される木材資源、新鮮で高品質な農作物、さくらおろち湖を特色づける特産品、出雲神話に関連する商品など、水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発 ②開発した特産品を「水源地域ブランド」として認定し、全国へ発信・販売することにより水源地域の認知度の向上 ③開発した特産品の販売促進を図るため、出雲神話に由来するネーミングの検討	
	XII 交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催	①「さくらおろち湖祭り」を継続・発展させることで、水源地域への観光客を呼び込み、水源地域の活性化
			(23)-2 そば打ち交流会の開催	①「さくらおろち湖祭り」については、NPO法人などの関係諸団体と連携し、ダム湖面の活用の検討 ①水源地域の特産品を通じた上中下流交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」の継続した開催
			(23)-3 イベントの企画・立案	①水源地域の魅力を向上させるために、尾原ダム（さくらおろち湖）を念頭においたイベントの企画・立案 ②周辺に人家が少ないダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討 ③堤頂道路の直線を活かしたイベントの企画・実施 ④さくらおろち湖とサイクリングコースを活かしたトライアスロン大会の実施 ⑤新たなイベントの企画